

総合計画審議会における意見等の対応

令和4年11月8日
第7回総合計画審議会
参 考 資 料 3

■9月29日開催の第6回上越市総合計画審議会及び会議後に聴取した委員の意見等について、以下のとおり、今後の対応や検討の方向性等を整理しました。

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
1	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本構想)	審議会	基本理念を記載しているページでは、Well-beingの用語説明が目立ってしまっている。基本理念そのものをもっと目立たせた方がよいのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を踏まえ、基本理念及びWell-beingに関する説明書きの記載方法（色彩）を修正しました。 ・加えて、計画の製本時において、計画内部に使用する難解な用語は、巻末に用語解説を記載するほか、専門業者のノウハウを活用して、イラストや写真等を挿入するなど、より分かりやすいものとなるよう工夫します。 <p style="text-align: center;">※第7回資料No.1(7ページ)のとおり</p>
2		審議会	文章を読んでいくと、Well-beingの言葉にやや唐突感があるが、国際的にも重要な概念として取り上げられている言葉でもあることから、上手く説明する方法を検討してほしい。	
3		第6回審議会会議後の意見	<p>○基本目標別の政策展開の方向性について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「基本目標1 支え合い、生き生きと暮らせるまち」に係る政策「地域の支え合いで安心できる福祉の推進」については「高齢者福祉の推進」と「障害者福祉の促進」、そして「複合的な課題を抱える世帯への支援」の3つの施策が掲げられているが、地域福祉の概念と施策の記述がない。 ・地域福祉は、それぞれの地域において安心して暮らすことができるよう、地域住民や公私の社会福祉関係者等が協力して、地域社会の様々な福祉課題に取り組むことが重要であり、高齢者福祉と障害者福祉が主要な施策と位置付けられるが、その他については、「複合的な課題を抱える世帯」に限定するのではなく、それも含めた広義の「地域福祉の促進」として取り組んでいくべきではないか。そうすることで、現在策定している「上越市第3次地域福祉計画」との整合が図られるものと考えます。 ・また、施策「1-2-2障害者福祉の促進」の名称は、上越市自らがその取り組みを通じて市民の理解を深めようとするのであれば、「促進」ではなく「推進」とすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域福祉」の概念については、11ページの「政策展開の方向性」で、「地域の支え合いで安心できる福祉の推進」として方向性を記載しており、その下に「高齢者福祉」、「障害者福祉」、「複合的な課題を抱える世帯への支援」の3つの施策を体系付け、取組を進めることとしています。 ・なお、社会福祉協議会等との連携による具体的な取組については、現在策定している「上越市第3次地域福祉計画」において記述していくこととしています。 ・また、施策名称においては、ご意見のとおり、市が取組を通じて、各種障害福祉サービスの充実や障害のある人への理解を推進していくこととしていることから、施策名称を「障害者福祉の推進」へ修正します。
4		審議会	<p>○土地利用構想（第3節 暮らしを支える拠点の構築（点））</p> <p>「各拠点が有する機能の例」において、各拠点が有する機能が挙げられているが、こうした機能は今後、縮小していくことが見込まれる。一方、他自治体では、移動式のスーパーや行政の出張窓口などでこうした機能を代替していることがあることから、「最寄品を購入する店」のように、実店舗に限らない表現を検討してもよいのではないか。</p>	

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
5	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本計画-施策)	審議会	○成果指標（全般） 目標値に「以上」「以下」や「下回らない」などの表現が混在しているが、統一した方がよいのではないか。	・意見を踏まえ、記載内容を修正しました。 ※第7回資料No.1(120～129ページ)のとおり
6		審議会	○成果指標（全般） 成果指標を設定した根拠を説明する必要があるのではないか。	・成果指標の出所や意図は一覧化し、資料編に添付します。 ※第7回資料No.1(120～129ページ)のとおり
7		審議会	○成果指標（全般） 成果指標について、現状値の出所をどこかに明記すべきと考える。	
8		審議会	○成果指標（全般） 設定する指標は、可能な範囲でアウトカムを意識した指標とすべきである。	
9		審議会	○成果指標（全般） 事業者に関する成果指標がいくつかあるが、今後、中小企業の減少が見込まれることから、件数ではなく割合を数値にする方がよいのではないか。	・成果指標の設定について、上記の考えに基づき設定しますが、数値については指標の性質等を踏まえて実数か割合かを検討しています。 ・事業者に関する指標では、事業所数を把握できる統計調査は調査年から結果を把握できるまでに数年の遅れがあること等から、件数を目標としています。 ・なお、成果指標の出所や意図は一覧化し、資料編に添付します。 ※第7回資料No.1(120～129ページ)のとおり
10		第6回審議会会議後の意見	○施策「1-2-1高齢者福祉の推進」 成果指標に「65歳以上の年齢調整済み要介護認定率」とあるが、誰にでも分かりやすいものとするならば、「年齢調整済み」は不要ではないか。	・要介護認定率は、性・年齢別の人口構成の影響を大きく受けるため、その影響を除いた、年齢調整済み要介護認定率の数値を用いています。意見を踏まえ、表記を一部修正するとともに、用語解説の中で、指標項目の説明を行います。
11		審議会	○施策「1-2-2障害者福祉の促進」 障害者に関する成果指標が就労に関するもののみとなっており、サービスの充実に関する指標の設定をする必要がある。	・意見を踏まえ、成果指標「グループホーム定員数（障害福祉サービス）」を設定します。 ※第7回資料No.1(38ページ)のとおり
12		審議会	○施策「2-1-1大規模災害への対応力の強化」 災害の関連では、BCP（事業継続計画）の作成が企業に求められており、こうしたことを指標として設定してもよいのではないか。	・「BCP（事業継続計画）」は、大規模災害への対応力の強化における取組の成果を図る上で、重要な視点であると考えますが、現状として上越市内企業の数値の把握が難しいことから、成果指標としての設定はしないこととします。

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
13	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本計画-施策)	審議会	○施策「2-1-2災害に強い都市構造の構築」 成果指標に「下水道（雨水幹線）の整備率」とあるが、この数値が増加することにより、洪水時の浸水エリアがこれだけ減るといった指標とすることはできないか。	・「浸水エリアの減少」は、治山治水対策の推進の取組の成果を図る上で、重要な視点であると考えますが、取組の成果だけではなく、降雨状況や民間開発などの外部環境の変化の影響を受けることを踏まえ、当初案のとおりとしたいと考えています。
14		審議会	○施策の柱「2-1-3-1防災意識の向上」 防災意識の向上・啓発の取り組みに対応する成果指標がない。本来は防災意識を捉えられるような調査やアンケートがあればよいが、難しければ、防災教育やイベントの回数などを設定することも考えられる。	・現在、市民の防災意識を捉えることを目的とした調査やアンケートは行っておらず、防災教育やイベントの回数などのアウトプット指標についても適当なものがないことから、当初案のとおりとします。 ・なお、防災意識の高まりにより、自主防災組織の定期的な防災活動や防災士資格取得につながるものと考えています。
15		審議会	○施策「2-2-3快適な生活環境の保全」 ○施策「2-4-2地球環境への負荷が少ない社会の形成」 ごみに関する記載が重複しているため、ごみの関係は「2-2-3快適な生活環境の保全」に集約し、「2-4-2地球環境への負荷が少ない社会の形成」では、重点テーマでもある脱炭素に関する成果指標を家庭部門と業務部門で分けて、より細かく設定してはどうか。 また、「快適な生活環境の保全」の成果指標については、ごみが適正に処理されることが重要であるため、再資源化率や最終処分量（率）などを成果指標とする方がよいのではないか。	・ごみに関連した各施策の取組の方向性については、下記のとおり、生活環境の保全と地球環境への負荷軽減の区分で整理しています。 ○施策「2-2-3快適な生活環境の保全」 不法投棄や野焼き、公害対策などの生活環境の保全に関する取組 ○施策「2-4-2地球環境への負荷が少ない社会の形成」 重点テーマでもある脱炭素社会の形成や循環型社会の形成に向けた取組 ・再資源化率や最終処分量（率）は、「2-4-2地球環境への負荷が少ない社会の形成」の取組に関する指標と考えますが、他施策の成果指標とのバランス等を考慮し、ごみに関する総合的な指標である「ごみの排出量」を掲載することとします。 ・なお、ご意見のあった指標について、本計画への掲載は行いませんが、個別計画等において進捗を管理することとします。 ・また、脱炭素に関連する指標の家庭部門と業務部門に分けた設定についても、同様に個別計画等において進捗を管理することとします。
16		審議会	○施策の柱「2-4-2-4環境学習と保全活動の推進」 「担い手の輪を拡大し」とあるが、他力本願のように見える。人材や団体を「育成」という言葉を入れていく必要があるのではないか。	・意見を踏まえ、記載内容を修正しました。 ※第7回資料No.1(63ページ)のとおり
17		審議会	○施策「3-1-1人権・多様性の尊重」 ありがたい姿に「門地」という文言があるが、「出身」の方がわかりやすいのではないか。	・意見を踏まえ、記載内容を修正しました。 ※第7回資料No.1(64ページ)のとおり

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
18	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本計画-施策)	審議会	○施策「3-1-1人権・多様性の尊重」 ・この施策の内容に、子どもの人権に関する内容を記載してほしい。 ・いじめの関係の記載については、人権の分野に適さないということであれば、子育て支援に含んでもよいのではないかと。 ・第6次総合計画で目標としていた「(いじめはどんなことがあってもいけないことだ)と答えた児童生徒の割合」を指標としても掲載すべきである。	・他施策の成果指標とのバランス等を考慮し、本計画への掲載は行いませんが、「(いじめはどんなことがあってもいけないことだ)と答えた児童生徒の割合」は、子どもの人権保護を図る上で、重要な視点であると考えことから、個別計画等において管理していきます。
19		審議会	○施策「3-1-2男女共同参画の推進」 第6次総合計画で目標としていた「管理職に女性を登用している民間企業の割合」、「市の審議会等の女性登用率」、「配偶者から暴力を受けたことがある女性の割合」を指標としても掲載すべきである。	・意見を踏まえ、成果指標「管理職に女性を登用している民間企業の割合(上越市男女共同参画に関する市内事業所アンケート)」を設定します。 ・他の項目については、他施策の成果指標とのバランス等を考慮し、本計画への掲載は行いませんが、個別計画等において管理していきます。 ※第7回資料No.1(66ページ)のとおり
20		審議会	○施策「3-1-2男女共同参画の推進」 男性の育休については前回の審議会でも重要な視点であることが議論されていたが、対応が図られていない。	・これまでの意見を踏まえ、記載内容を修正しました。 ※第7回資料No.1(67ページ)のとおり
21		審議会	○施策「3-2-1コミュニティの充実」 成果指標「自主的審議事項のテーマを定めて取り組んでいる地域協議会の数」において、自主的審議事項は地域協議会が自発的に審議を行うものであり、目標として市が推進していくことは、制度の主旨と異なるのではないかと。	・意見を踏まえ、成果指標から削除しました。 ※第7回資料No.1(70ページ)のとおり
22		審議会	○施策「4-1-4雇用機会の拡大と就労支援」 成果指標「ハッピーパートナー登録企業数」において、現状の市内の事業所数が不明であり、設定した数値が妥当かどうか判断できない。	・当該指標は市内に本社がある企業を対象としていますが、市内本社企業数を把握できる統計調査では、個人で経営している企業等も含まれており、母数として適切でないことから、件数を目標としています。 ・成果指標の出所や意図は一覧化し、資料編に添付します。 ※第7回資料No.1(120～129ページ)のとおり
23		審議会	○施策「4-1-3新産業・ビジネス機会の創出」 成果指標「IT企業等の新規立地企業数」において、現状として上越市に縁がある企業が進出していることを踏まえ、住まいや暮らしのしやすさをセットにしてPRしていく必要があるのではないかと。	・住まいや暮らしのしやすさなどのPRについては、企業誘致のみならず、移住定住の推進、若者が活躍できる環境づくりなど、本計画全般において重要な視点であると考えておりますので、今後の事業の実施において参考とします。
24		審議会	○施策「4-2-1観光振興の強化」 目標に「経済効果の創出」に関する記載があることから、成果指標を掲載すべきである。	・意見を踏まえ、成果指標「観光消費額」を新規設定します。 ※第7回資料No.1(84ページ)のとおり

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
25	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本計画-施策)	審議会	○施策「4-2-2シティプロモーションの推進」 成果指標「Instagramにおける「#上越」をつけた投稿数」において、令和12年にInstagramを使う人がいなくなっていることも考えられることから、指標として不適切ではないか。	・意見を踏まえ、成果指標から削除しました。 ※第7回資料No.1(86ページ)のとおり
26		審議会	○施策「4-3-1農業の振興」 環境分野に関する重要な課題として鳥獣被害があり、関連する指標としては農業分野に猟友会の新規入会者数が掲げられているが、鳥獣被害額を設定する方がよいのではないか。	・推計の基礎となる野生鳥獣の生息数や生息数に比例する被害面積や被害額については、自然界の現象に左右されるところが大きく、取組の成果を正確に確認できる数値としては、適さないものと考えられることから、成果指標として設定しないこととします。
27		審議会	○施策「4-1-1地域に根付く産業の活性化」 成果指標に「倒産・廃業件数」とあるが、成果として馴染むものではないことから削除すべきである。	・意見を踏まえ、成果指標から削除しました。 ※第7回資料No.1(76ページ)のとおり
28		第6回審議会会議後の意見	○施策「4-3-1農業の振興」 成果指標「販売額概ね1億円規模の園芸産地」において、「産地」ではなく「品目」の方が現状を考えると良いのではないか。	・意見を踏まえ、成果指標を修正しました。 ※第7回資料No.1(88ページ)のとおり
29		審議会	○施策「4-3-3農林水産業の価値と魅力向上」 農業分野について、現在は法人化を推奨する国の方策等もあるが、個人で農業に携わっているような人たちが評価される成果指標があるとよいのではないか。	・個人農業者においては、栽培する品目や経営規模等が様々で、画一した成果指標を設定し、評価することは難しいため、成果指標としては設定しないこととします。
30		審議会	○施策「5-1-1切れ目のない子育て支援」 成果指標「児童虐待に関する支援を要しなくなった世帯数」において、通報等があった件数のうち、解決した件数を指しているのであれば、件数ではなく割合の方がよいのではないか。	・「児童虐待に関する支援を要しなくなった世帯数」については、経過観察の期間を延長するなど、より丁寧に対応することと数値の改善が連動しないことから、目標として適切でないと判断し、削除することとしました。 ・代替として、虐待の早期発見等により、児童の生命や健康・成長等に重要な影響にある世帯が減っていることを示す指標である「児童虐待に関する支援が必要な世帯のうち、緊急度の高いケースの割合」を設定します。 ※第7回資料No.1(94ページ)のとおり
31	審議会	○施策「5-1-1切れ目のない子育て支援」 子育て支援に関連して、育児ストレスは配偶者の協力に左右される面が大きいことから、男性の育休取得率などを文章や成果指標に追加してはどうか。	・成果指標の設定に当たっては、「取組の結果どうなったのか」という成果を表す指標を優先的に採用することとしています。しかし、適切な成果指標がとれない場合は、「何をしたか」という活動量を表す指標のほか、全国の自治体等と比較ができるものや、数値の把握に過大な作業がないものなどを検討し、設定するほか、数値についても、指標の性質等を踏まえて実数か割合かを検討しています。 ・「男性育休取得率」は、切れ目のない子育て支援や女性活躍・女性参画の促進などの取組の成果を図る上で、重要な視点であると考えますが、現状として上越市内企業の数値の把握が難しいことから、成果指標として設定しないこととします。	

No.	項目 【第6回資料No.】	出所	意見等の内容	今後の対応、検討の方向性等
32	第7次総合計画 (案) 【資料No.2】 (基本計画-施策)	第6回審議会会議後の意見	○施策「5-2-1主体的な学びを支える学校教育の充実」 ○施策の柱「5-3-1-2多様な学習活動の推進」 小中高の学校教育の場だけではなく、年齢を問わずこれからますます福祉教育が重要になってくるものであり、そこからだれもがお互いを理解し合い、支え合うことができる安心した地域づくりが実現するものと考えられるため、福祉教育に関する記述を追記するべきである。	・学校教育においては、各種教育として、福祉教育はもとより人権教育・環境教育・情報教育・キャリア教育・消費者教育・金融教育・国際理解教育など、様々な現代的な諸課題を踏まえた教育に取り組んでいます。 ・また、公民館活動等の多様な学習活動においても、子どもから高齢者までを対象とする様々な学びの中には、福祉教育に関するものもあります。これらの状況を踏まえ、福祉教育に特化した記載は不要と考えています。
33		第6回審議会会議後の意見	○施策「5-2-1主体的な学びを支える学校教育の充実」 ・「学校と地域が一体となって」との表現について、文部科学省では近年このような表現をしていないと認識している。 ・「ありがたい姿」で、「学校と地域が一体となって」とあるが、教員は、保護者の代わりはできないため、「二人三脚で」や「連携・協働して」などの表現がより適切ではないか。	・意見を踏まえ、記載内容を修正しました。 ※第7回資料No.1(98ページ)のとおり
34	その他計画全般について	第6回審議会会議後の意見	「目標1 貧困をなくそう」 「目標2 飢餓をゼロに」 「目標3 すべての人に健康と福祉を」 上記3つのSDGs目標に対し、基本目標1に掲げる「福祉の推進」の3つの全ての施策で対応していこうとする視点が必要ではないか。	・SDGsに掲げる17のゴールに紐づけられた169のターゲットと第7次総合計画における38施策を関連付けしていますが、意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 ○「1-1-1こころと体の健康の増進」に目標2を追加 ※ターゲット2.2該当 ○「1-2-3複合的な課題を抱える世帯への支援」に目標2を追加 ※ターゲット2.1該当 ○「5-1-1切れ目のない子育て支援」に目標2を追加 ※ターゲット2.2該当 ※第7回資料No.1(32、40、94、118ページ)のとおり
35		第6回審議会会議後の意見	わかりやすい概要版的なものは計画されているか。	・本計画の普及啓発については、多くの市民がまちづくりに関心を持ち、共感を得ながら、共に将来都市像の実現に向けてまちづくりを進めていくことに向け、広報上越やホームページ等の各広報媒体を通じた情報発信に取り組まします。 ・また、わかりやすい概要版等を作成し、町内会や地域協議会等への周知をはじめ、中高生向けの出前講座を開催するなど、まちづくりを考える機会を設け、行動していくための気運の醸成を図っていくこととしています。
36		第6回審議会会議後の意見	周知に向け、ホームページ等への掲載は予定しているか。	・ご意見をいただきました説明会については、上記の取組の状況等を踏まえ、実施について検討していきます。